



2020年度 Aコースについて



～ 中学入試のおもしろい！をみつけよう

<ねらい>

入試に出題される重要実験を実際に体験し、**入試理科を楽しく・得意分野**にすることにあります。「**楽しいから学びたくなる**」この姿勢は受験を志す子どもたちにとっても大切なことです。中学入学後にも継続する、**本物を学ぶ姿勢の体得**を本コースでは目指しています。感動を伴う体験は、学校や塾などの学習に先駆けて経験しておく方が、お子様に効果的に定着する傾向があります。このため、**4年生でも楽しく理解できるように実施**してまいります。小学校4年生・5年生の方には月2回受講をお勧めいたします。

<2020年度 神奈川／東京 中学入試出題傾向 約200校対象> [分析 アインシュタインラ

2019年度の入試では、実験・観察を扱う出題が7割を超え、化学分野・物理分野では、**9割以上が実験に関する出題**となりました。

内容をみると、**天体・動植物・水溶液・状態変化・気体の発生・気体の性質・運動分野**は、まんべんなく基本問題として出題されたといえます。注意したいところは、各中学校がそれぞれの**特色を出す応用問題**です。ここでは、教科書のみでの学習ではとらえきれない出題が目立ちます。**興味深い出題例**としては、**台風の進路の衛星写真を見ながら、今後の進路を予想する問・ダム**の放水と川の水量を一定に保つ装置に関する問 これらは、現在日本が直面している時事問題が関係しています。また**コンデンサの蓄電容量と車の走行距離との関係**など、小学校では扱いにくい電力関係の出題も目立ってきています。さらに塩酸やなどの劇薬の性質を実験を通して考え、**人体はこの劇薬を体内でどのように使っているかなど化学と生物の融合問題**などもみられます。これらの問に対応するためには**自分から面白いと興味をもち、現象と現象を関係付けて調べていく**など、通常の教科書や問題集や参考書にとらわれない積極的な姿勢が大切になってきます。

2020年度の**アインシュタインラボ**の授業では、小学校で行う基本的な実験はもちろん、上記のような**最新の時事問題**にも対応できるよう、各分野の**実験**を取りそろえております。お子様の**受験**および**その後の将来**にきっとお役にたてると自負しております。

卒業生の感想

<Aコースのようす>

受験のために習ったことを、本当に実験できるのがよかった。ラボで習ったことは、将来絶対活かせるので、みんながんばってほしい。

(学習院中等科合格)

ラボに来て、理科が大好きになりました。理科が得意教科となり国算を引っ張り上げ合格できました。(浅野合格)

私はここで色々な実験をしました。その中でも入試にいかせるものがたくさんあり、楽しみながら知識を得ることができ良かったです。

(日本女子大学附属合格)

難しい内容もありましたが、教え方が分かりやすく楽しかった。理科が好きになったことがよかった。入試にも役立った。

(逗子開成中合格)

その他、たくさんの皆さんから感想をいただきました。ありがとうございました。

